



2021年2月1日

各 位

緑内障・高眼圧症治療剤「エイベリス点眼液 0.002%」を韓国で発売

参天製薬株式会社(本社:大阪市、以下 Santen)と宇部興産株式会社(本社:宇部市、以下宇部興産)は、2021年2月1日、緑内障・高眼圧症治療剤「エイベリス点眼液 0.002%」(一般名 オミデネパグ イソプロピル、以下本剤)の保険収載を経て、韓国現地法人である韓国参天製薬株式会社より発売しますので、お知らせします。

本剤は、緑内障・高眼圧症の治療を目的として、Santen と宇部興産が共同開発している点眼剤です。有効成分であるオミデネパグ イソプロピルは、Santen が宇部興産から導入した、選択的に EP2 受容体に作用して眼圧下降作用を示す新規作用機序の化合物です。日本では 2018 年 11 月より「エイベリス点眼液 0.002%」の名称で販売されており、日本以外では韓国が初めての販売国になります。また、他のアジア諸国においても順次販売承認を申請しています。

緑内障は、視神経の障害により視野の欠損が起こる疾患です。基本的に進行性で非可逆的であるため、早期発見・早期治療による視神経障害と視野欠損の進行抑制が治療上の重要な課題で、眼圧を下降させることが、最も確実な治療法です。緑内障は、日本での眼疾患による視覚障害(視力低下、失明)の主な原因となっており、韓国では 97 万人以上の人々が罹患しています¹。世界では 7,600 万人が罹患していると推測されています²。

両社は、より多くの治療選択肢を医療現場に提供することで、韓国の患者さんの QOL(クオリティ・オブ・ライフ:生活の質)の向上に寄与できることを期待しています。

¹ Health Insurance Review & Assessment Service in Korea (Code: H40)

² World report on vision. Geneva: World Health Organization; 2019.

以上

Santen(参天製薬株式会社、本社:大阪市)について

Santen は、眼科に特化したスペシャリティ・カンパニーとして、医療用・一般用の医薬品や、医療機器の研究、開発、販売・マーケティング活動を行っています。世界約 60 を超える国・地域で製品を販売しており、国内の医療用眼科薬市場においては No.1 のシェアを有しています。130 年の歴史の中で培われた科学的知見や企業力を活かし、今後も、価値ある製品・サービスの提供を通じ、患者さんや患者さんを愛する人たちを中心として、社会への貢献を果たしてまいります。詳細については、当社ホームページ www.santen.co.jp をご参照ください。

宇部興産株式会社について

宇部興産は化学を中心に建設資材や機械の各分野でも事業を展開しています。医薬事業は、技術革新にあふれた「クスリづくり」を地域から発信し、すべての人々の健康に貢献することを目指しています。これからも医療に貢献するため、自社/共同研究開発による「創薬」と「原薬・中間体製造」を両輪として新しい医薬品の種となる化合物を創出してまいります。詳細については、当社ホームページ <http://www.ube.co.jp> をご参照ください。

参天製薬の将来見通しに関する注意事項 (Forward-Looking Statements)

このプレスリリースにおいて提供される情報は、いわゆる「見通し情報」(“Forward-Looking Statements”)が含まれています。これらの見通しの実現できるかどうかはさまざまなリスクや不確実性に左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知置きください。また、日本ならびにその他各国政府による医療制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利、為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。

— 本件に関するお問い合わせ先 —

参天製薬株式会社 コーポレート・コミュニケーショングループ

communication@santen.com